

大反響!

シリーズ 奇跡の手術室 永久保存版

がん・心臓病・脳卒中

日本の名医「最高の180人」を一挙公開ッ!

取材・文 吉原清児 撮影 長谷川健郎

もし、がんや心臓の手術を受けることになったら、頼るべき「名医」は、いったいどこにいるか。

日本の医療レベルは平均的に高い。軽い病気なら、たいていどの病院でも治ってしまう。しかし、三大疾病といわれる、がんや心臓病、脳卒中のような病気は別だ。技術と能力の面で驚くほどの病院格差があり、医師の力の差が患者の生死を分けてしまうこともある。

ところが、まったく解せないことに、

現行の保険医療制度上、いわゆる「病気の値段」は国の決めた公定価格であるため、治療技術の優劣がほとんど問われない奇妙な仕組みになっている。その結果、経験豊かな一流医師も未熟な三流医師も

治療代は同額というのだから、日本社会のバカげた「公正」ルールである。

本誌で連載したフォトルボ「シリーズ奇跡の手術室」(4月22日号〜7月22日号)は、超一流医師だけを取り上げ、その「技」にレンズで迫り大反響を呼んだ。そこで今回、がん・心臓病・脳卒中に強い医師60人ずつをリストアップした永久保存版としての「日本の名医180人」を一挙公開する。

次ページに掲げた「がんの名医」リストは、北は北海道から南は九州まで、各分野を代表する医師60人をはん部位別に選んだものである。これは、

①年間手術(治療)数の多さ

②複数の名医による手術の技術評価

という2項目が主な評価基準となっている。①の年間手術数は、熟練した外科医が、高度ながん手術をこなしている証明だ。また、②については、医師の腕を見分けるのに名医の目以上に厳しく、かつ正確な評価基準はないということだ。「あの人は『できる』とか『この先生だ』という言い方で、複数の名医が本音ですめるのであれば、まず間違いなく、患者は安心してかかることができる。後に続く「心臓病に強い名医60人」(33ページ)「脳の病気に強い名医60人」(35ページ)も選出方法は同じだ。

がん

先ごろ、厚生労働省が公表した'04年の死亡統計によると、がんによる年間死亡数は過去最高の32万人となった。男性の死因トップが肺がん(4万3000人)、続いて胃がん(3万3000人)、肝臓がん(2万3000人)、大腸がん(2万2000人)。女性では多い順に大腸がん(1万8000人)、胃がん(1万7000人)、肺がん(1万6000人)、肝臓がん(1万1000人)、乳がん(1万人)となる。がんにかかる人の数は増加の途をたどり、男女合わせて年間60万人以上とみられる。

がんの治療法は大別して、①手術、②放射線、③化学療法(抗がん剤)の3種類だ。多くの場合、手術が第一に選択されるのは、がんを完全に取り除き、一番確実に治せるからである。

取材した男性患者I氏(72)は「C型肝炎変性肝臓がん」だった。C型肝炎ウイルスによる肝臓がんを発病した典型的なケースのようで、昨年12月、肝臓の中にがんが見つかった。4カ月後の再検査では、がんは直径4cm大まで成長していることがわかったという。このまま放っておけば命取りとなるのは間違いなかった。

「手術をするなら今です」

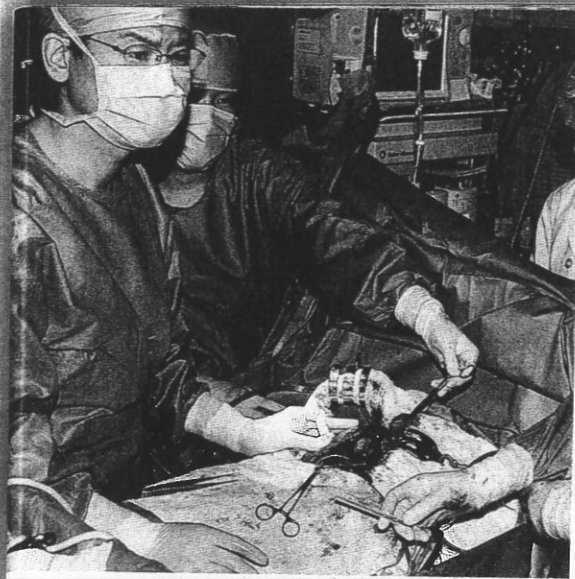
と、高山忠利日大板橋病院教授(消化器外科)がすすめる、この男性患者は肝臓の6分の1を切り取る手術を決断した。

肝臓がん手術では、「術中エコー」による「幕内術式」という画期的な方法がある。同手術の第一人者・幕内雅敏東大病院教授が世界に先駆けたので、この名が付いた。超音波装置を手術室に持ち込み、そこから発生する超音波を利用して肝臓の構造を把握。がんの大きさと位置、形をつきとめるという。

「これによって、肝臓のどこを切ればよいかかわかり、出血量も少なく安全で確実な手術ができるんです」(高山教授)

6月6日、肝臓がん手術は約5時間かかった。全出血量が200cc。同手術の平均出血量加ccと比べて約3分の1と少なく、直径4cm大のがんがきれいに切り取られたのだ。術後経過も順調で同月26日、退院。「いい先生と出会えた私は運がよかった」

◀乳がん治療・福岡英祐亀田総合病院乳腺センター長。「乳腺内視鏡手術+乳房再建」が得意



▲肝臓がん手術・高山忠利日大板橋病院教授(写真左)



大腸がん手術に強い名医トップ15

森田隆幸	青森県立中央病院 (青森県青森市)	弘前大学病院から転じた森田隆幸部長は「あの先生は手術が巧い」と上々の評判
池田栄一	山形県立中央病院 (山形県山形市)	大腸がんの年間手術数157件。クオリティ・オブ・ライフ (生活の質) を重視
小西文雄	自治医科大学附属大宮医療センター (埼玉県さいたま市)	小西文雄消化器外科教授は大腸がん手術の名手。年間180件の手術をこなす
森武生	東京都立駒込病院 (東京都文京区)	進行がんを含め全体の治癒率70%。直腸がんに対する神経温存療法で先駆けた
森谷宣浩	国立がんセンター中央病院 (東京都中央区)	年間390件の大腸がん手術をこなす、手術数の多さでは国内ナンバーワン
志田晴彦	東京厚生年金病院 (東京都新宿区)	大腸がん、転移性肝がんなどの手術が得意。患者とのふれあいを大切にする
渡邊昌彦	北里大学病院 (神奈川県相模原市)	大腸がんに対する腹腔鏡下手術の第一人者。「患者の面倒見がいい」と評判
瀧井康公	新潟県立がんセンター新潟病院 (新潟県新潟市)	直腸がんに対して人工肛門を造らない「肛門機能温存」も積極的に取り組む
加藤知行	愛知県がんセンター (愛知県名古屋市)	加藤知行院長は、中部屈指の大腸がん外科医。熟練した「技」の持ち主だ
石川治	大阪府立成人病センター (大阪府大阪市)	大植雅之医長との大腸外科コンビは関西随一の實力と評価が高い
奥田準二	大阪医科大学附属病院 (大阪府高槻市)	大腸がんに対する最先端の腹腔鏡下手術の旗手。最近1年間の手術数約200件
亀山雅男	ベルランド総合病院 (大阪府堺市)	大阪府立成人病センター出身。進行再発大腸がんに対する治療に強い
岡島正純	広島大学医学部附属病院 (広島県広島市)	岡島正純助教授は若手のトップ集団の一人。腕は確かで、手術成績も良好
白水雄雄	久留米大学病院 (福岡県久留米市)	人工肛門にしない直腸がん手術を独自に工夫、治療実績は九州屈指
山田一隆	高野病院 (熊本県熊本市)	「大腸肛門の専門病院」として有名。山田一隆院長は熟練したテクニックの持ち主

胃がん手術に強い名医トップ15

福島紀雅	山形県立中央病院 (山形県山形市)	年間150〜180件の胃がん手術を手がける。特に、胃の機能温存手術が得意
寺島雅典	福島県立医科大学附属病院 (福島県福島市)	上記の福島紀雅医師と並び、胃がん手術では東北を代表する名外科医だ
加納宣康	亀田総合病院 (千葉県鴨川市)	腹腔鏡下手術と開腹手術の両方に熟練の技術を持ち、患者本位の治療に定評
笹子三津留	国立がんセンター中央病院 (東京都中央区)	胃がん手術の第一人者。胃がんグループの年間総治療数850件は国内最多
岩崎善毅	東京都立駒込病院 (東京都文京区)	腹腔鏡下手術も手がける。病院全体では胃がん総手術数が累計5000件以上
大谷吉秀	慶應義塾大学病院 (東京都新宿区)	胃がんに対する腹腔鏡下手術の実績では折り紙付き。手術経験が豊富である
西連寺意勲	神奈川県立がんセンター (神奈川県横浜市)	胃がんに加え、首都圏屈指の消化器外科医。わかりやすい説明を心がける
梨本篤	新潟県立がんセンター新潟病院 (新潟県新潟市)	年間手術数は250件。胃がんの治療成績は常に全国でもトップクラス
小野裕之	静岡県立静岡がんセンター (静岡県長泉町)	絶縁体のボールをつけた針状のメスを使う内視鏡手術「Tナイク」の第一人者
片山信	山下病院 (愛知県一宮市)	片山信院長以下、消化器がんにも強い。周辺開業医からの紹介が6割以上を占める
山村義孝	愛知県がんセンター (愛知県名古屋市)	胃がん手術数は年間200件。うち、半数を占める早期がんは縮小手術で対応
宮代勲	大阪府立成人病センター (大阪府大阪市)	医師歴18年。最新手術に強く、腹腔鏡下手術にも熱心に取り組む
辻仲利政	大阪医療センター (大阪府大阪市)	胃がん手術の實力度では近畿ナンバーワン。最新抗がん剤治療にも強い
二宮基樹	広島市立広島市民病院 (広島県広島市)	中国地方を代表する消化器外科医だ。特に、胃がん手術の名手として知られる
愛甲孝	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 (鹿児島県鹿児島市)	南九州の中核病院。年間手術数は多くないが、患者本位の胃がん治療に熱心

肝臓がん手術に強い名医トップ15

藤堂省(A)	北海道大学病院 (北海道札幌市)	肝臓がん治療にかけつづけては道内一の実績。'97年以来、肝移植も手がけている
松野正紀(A)	東北大学医学部附属病院 (宮城県仙台市)	肝臓がん・胆管がん・膵臓がん手術数は年間約300件。東北では群を抜く実績
吉見富洋(A)	茨城県地域がんセンター (茨城県友部町)	患者に少しでもメリットがある限り、再発進行がんにも果敢にメスを揮う
宮崎勝(A)	千葉大学医学部附属病院 (千葉県千葉市)	大腸がんや胃がんの転移性肝がんにも積極的な手術を行い、手術成績は良好
幕内雅敏(A)	東京大学医学部附属病院 (東京都文京区)	肝臓がん手術の第一人者。転移性肝がんにもメスで挑み、好成績をあげる
高山忠利(A)	日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区)	細心と熟練のメスさばきでは国内屈指。世界初の「尾状葉単独切除」に成功
山田和明(A)	国立がんセンター中央病院 (東京都中央区)	がん治療の総本山。肝臓がんの年間手術数160件は国内でも一、二を争う
島本雅一(A)	東京女子医科大学病院 (東京都新宿区)	外科と内科が一体となって診断治療にあたる。肝臓がん手術数が年間約100件
泉並木(B)	武蔵野赤十字病院 (東京都武蔵野市)	最新のラジオ波焼灼術 (ラジオ波の針の先端からの電流でがんを焼く) が得意
二村雄次(A)	名古屋大学医学部附属病院 (愛知県名古屋市)	治りにくい肝門部胆管がん手術を得意とし、累計手術数230件は世界最多
猪飼伊和夫(A)	京都大学医学部附属病院 (京都府京都市)	肝臓がん手術には伝統的に強い。年間手術数が100件以上
佐々木洋(A)	大阪府立成人病センター (大阪府大阪市)	関西を代表する肝臓外科医。高度な技術力で年間100件近い手術をこなす
大崎往夫(B)	大阪赤十字病院 (大阪府大阪市)	肝臓病の診断と治療では高い実績。1年間の腹部超音波検査数1万1229件
丸山俊博(B)	北九州市立医療センター (福岡県北九州市)	〇型肝臓に対するインターフェロン療法を積極的にに行い、治療後のフォローも
佐田通夫(B)	久留米大学病院 (福岡県久留米市)	'04年2月、肝がんセンター開設、患者数が多い福岡、佐賀両県をカバーする

A=肝臓外科 B=肝臓内科

乳がん手術に強い名医トップ15

田村元	北海道がんセンター (北海道札幌市)	乳がん手術件数では道内有数、最近1年間の乳がん患者数が237人と多い
安藤二郎	栃木県立がんセンター (栃木県宇都宮市)	適確な診断により「乳がん手術の縮小化」をめざし、良好な治療成績を得る
福岡英祐	亀田総合病院 (千葉県鴨川市)	乳腺内視鏡手術の第一人者。同手術数の累計800例は世界ナンバーワンだ
戸井雅和	東京都立駒込病院 (東京都文京区)	乳がん治療に減法強く、総合力では全国一の声も。乳房再建でも高い実績
中村清吾	聖路加国際病院 (東京都中央区)	外科に「乳がんクリニック」を併設し、中村清吾院長らがチーム医療を展開する
福富隆志	国立がんセンター中央病院 (東京都中央区)	診断と治療の双方で最新テクニックを駆使し、乳がん手術が年間400件
霞富士雄	癌研有明病院 (東京都江東区)	最近1年間の乳がん手術数800件は日本第1位。過去30年間では1万件以上
福田護	聖マリアンナ医科大学病院 (神奈川県川崎市)	日本乳がん学会のリーダー役。年間手術数300件、乳がん患者の会も
佐野宗明	新潟県立がんセンター新潟病院 (新潟県新潟市)	乳がん手術では平均入院日数が1週間前後と短く、良好な治療成績である
岩田広治	愛知県がんセンター (愛知県名古屋市)	年間350件の乳がん手術を手がけ、名実とも中部を代表する乳腺外科医の一人
澤井清司	京都府立医科大学附属病院 (京都府京都市)	乳がん治療では国内屈指のスペシャリスト。乳腺内視鏡手術も累計300件以上
玉木康博	大阪大学医学部附属病院 (大阪府吹田市)	大阪大学病院は関西における乳がん治療のメッカ。乳腺内視鏡手術も手がける
北村薫	九州中央病院 (福岡県福岡市)	乳がんに強い女医として有名。乳腺内視鏡手術での「がん摘出+同時再建」も
大野真司	九州がんセンター (福岡県福岡市)	九州屈指の専門医。年間約200件の手術を行い、治療成績もきわめて良好
難波清	プレストピアなんば病院 (宮崎県宮崎市)	全国でも珍しい乳がん専門病院。病院ホームページ「乳がんの知識」は必見!



心臓バイパス手術・渡邊剛金沢大学病院教授

た」とは一氏の言葉だ。

乳がんは、毎年1000人ずつの割合で増えており、一年間の新患者数が4万人強だ。この世界では「乳腺内視鏡手術+乳房再建」という最新治療が登場している。

乳腺内視鏡手術は、'95年、福岡英祐医師（現亀田総合病院乳腺センター長）が世界第一号を手がけて以来、わが国独自の乳がん治療として広まり、'02年4月には保険適用された。福岡医師の場合、乳がんが治る率も「ステージⅠの早期がんはほぼ100%、ステージⅡが94%」。

独自の乳房再建術は美容整形の乳房再建からヒントを得たという。

「私の乳がん治療は、内視鏡によるがん手術の技と、美容整形の知恵を合体させたところがミソです」（福岡医師）

ただし、高度な技術力と経験がいるため、これら二つの組み合わせは全世界を見渡しても、福岡医師ただ一人の「離れ業」。乳腺内視鏡手術は現在、全国の病院で施術され始めているが、まだ医師の技術レベルにばらつきがあるので、名医選びの「目」も忘れないことだ。

急増中の大腸がん（新患者数が年間10万

11万人）の場合、最近では「体にやさしい手術」（内視鏡を使う腹腔鏡下手術）が全国的に行われている。

この手術は、おなかに数カ所の穴を開け、そこから特殊な器具で臓器（腸の一部）を体の外に取り出してがんの部分を取り取ってしまう。

しかし、この手術も医師の技の差が激しい。トップクラスの手術時間は、開腹手術と比較して1〜2時間長くかかる程度で済む。だが、下手な医師だとその倍かかることもあるのだ。

この世界では、第一人者の渡邊昌彦北里大学病院教授と、「腹腔鏡下ナビゲーション手術」の旗手である奥田準二大阪医大病院助教授が東西の横綱格だ。

ちなみに、最先端の腹腔鏡下ナビゲーション手術の場合、コンピュータ上の操作で手術用シミュレーション画像を作ることで、腸の長さや形、血管の走行状態までを手術前にほぼ予想できるといふ。「われわれが考案した術前シミュレーションは目で見てわかるので、患者さんからも喜ばれています」（奥田助教授）

心臓病

一日に心臓が脈打つ回数は10万回、一年3650万回。生きている限り、過酷な働きを休みなく繰り返すがゆえに、心臓へのエネルギー補給が欠かせない。そこで血液を通して栄養分や酸素を送るための3本の血管（右冠動脈と前下行枝、回旋枝）が存在する。動脈硬化が進み、このどれか一本でも血流が妨げられると、

心臓は悲鳴をあげ始める。栄養分と酸素が不足して十分に働けなくなるからだ。これが狭心症、心筋梗塞という病気だ。

狭心症、心筋梗塞の治療は、毎年2万人前後が受ける心臓バイパス手術（後述）と、年間およそ15万〜16万人の心臓カテーテル治療に大別される。全国約1000の病院で行われているカテーテル治療において、「神様」と呼ばれるのが、延吉正清小倉記念病院院長だ。

「治療時間はどれくらいかかりますか」と私が聞くと、当の延吉院長が、「患者さん一人平均で15分間です」と教えてくれた。もの凄いスピードだ。

カテーテル治療は、足のつけ根から細い管を心臓まで通す（距離約1m）、そして心臓の狭窄部を拡張し、もう一度管を手元まで引き抜く手術。普通、早くても1時間前後かかるが、「神様」の手にかかる、たったの15分で済む。その分、患者の負担が軽くなるということだ。

医学界では今、「名医の集まり」が話題を呼んでいる。その名も「ツィー・ハンドレッドクラブ」。年間200件以上の心臓手術を執刀し、治療成績が抜群である超一流心臓外科医の会、という意味だ。

メンバーは現在11人（主な顔ぶれはリストを参照）。その中の一人で、「実在のブラックジャック」として有名なのが、渡邊剛金沢大学医学部心臓・総合外科教授（6月に新設された東京医大病院心臓外科教授兼任）

渡邊教授がもっとも得意とする手術の一つが、「心拍動下心臓バイパス手術」（心臓を動かした状態で血管をつなぎ合わせ、



▶心臓カテーテル治療・延吉正清小倉記念病院院長（写真中央）。15分の神業。で命を救う

血流をよくする）。成功率は99.7%だ。心臓バイパス手術は、鉛筆の芯ほどの血管（直径1.5〜2mm）を、髪の毛より細い糸で縫い合わせる。糸がもつれたり、一針でも指先の動きが狂ったりしたら即、患者の死につながってしまう。また時間上の制約もあって、15分間以内で血管を正確に縫い合わせるテクニックがなければ、患者の容体はたちまち悪化する。そうならないよう確実、迅速に血管をつなぐのが「プロの技」（渡邊教授）だ。

もう一つが、世界的にもまだ珍しい「アウェイク（覚醒）心臓バイパス手術」。手術中、局所麻酔で意識がある患者にメスを入れるという驚異的な最新手術だ。

「この手術は、全身麻酔をかけると危険な高齢者や重症患者には福音です。また働き盛りの方は手術のダメージが少ない分、早期退院が可能です」（渡邊教授）これまで91歳の男性患者を最高齢とし

心臓バイパス手術(狭心症、心筋梗塞)に強い名医トップ15

道井洋史	心臓血管センター北海道大野病院 (北海道札幌市)	'03年の総手術数は357件。道井洋史副院長は北海道一の手術上手である
須磨久善	心臓血管研究所付属病院 (東京都港区)	卓越した手術テクニックは国際的に著名。5月、日本初のスーパーバイザーに就任
★天野篤	順天堂大学医学部附属順天堂医院 (東京都文京区)	最近10年間で最も多くの心臓バイパス手術を手がけ、累計3000件以上
高梨秀一郎	榊原記念病院 (東京都府中市)	'03年12月、渋谷区から府中市に移転。高梨秀一郎部長は成人心臓病の手術に実績
南淵明宏	大和成和病院 (神奈川県大和市)	南淵明宏部長は心拍動下心臓バイパス手術が得意。最近1年間で231件
★渡邊剛	金沢大学医学部附属病院 (石川県金沢市)	心拍動下心臓バイパス手術では世界の第一人者。成功率は99.7%と驚異的
大川育秀	豊橋ハートセンター (愛知県豊橋市)	大川育秀副院長は国内トップクラスの心臓外科医の一人。手術成功率は98~99%
夜久均	京都府立医科大学付属病院 (京都府京都市)	治療最前線で心臓手術のメスを揮い、1年間の総手術数が387件と多い
西脇登	近畿大学医学部奈良病院 (奈良県生駒市)	西脇登教授はプロ意識に徹し、心臓バイパス手術の名手として全国的に名高い
東上震一	岸和田徳洲会病院 (大阪府岸和田市)	成人心臓病の年間手術数306件。うち、狭心症、心筋梗塞206件は全国有数
清水幸宏	大阪市立総合医療センター (大阪府大阪市)	関西を代表する成人心臓病手術のスペシャリスト。年間手術数が約300件
向原伸彦	兵庫県立姫路循環器病センター (兵庫県姫路市)	モットーは「患者さんの安全が第一」。最近1年間の総手術数が357件
畑隆登	心臓病センター榊原病院 (岡山県岡山市)	日本第1号の心臓専門病院。畑隆登院長は西日本屈指の心臓外科医
★岡林均	小倉記念病院 (福岡県北九州市)	年間の心臓バイパス手術数377件は日本一。累計5000件突破をめざす
★坂田隆造	鹿児島大学病院 (鹿児島県鹿児島市)	国内最高の心臓外科医。教授就任以来、「1週間9件」のペースで手術をこなす

心臓カテーテル手術(狭心症、心筋梗塞)に強い名医トップ15

阿部秀樹	北斗循環器病院 (北海道札幌市)	道内屈指の治療実績をもち、累計6000件。指導者的な実力医師の一人である
目黒泰一郎	仙台厚生病院・心臓センター (宮城県仙台市)	年間治療数1356件は全国第4位の好成績。情報公開の下、患者を断らない
桜井真己	石心会狭山病院 (埼玉県狭山市)	安全で、患者の負担が軽いカテーテル治療を得意とし、年間治療数が700件
中村淳	新東京病院 (千葉県松戸市)	心臓病で高度なテクニックを駆使し、年間治療数1010件は全国第6位である
住吉徹哉	榊原記念病院 (東京都府中市)	心臓病急から慢性期リハビリテーションまで引き受ける。年間治療数417件
村松俊哉	川崎社会保険病院 (神奈川県川崎市)	'03年の年間治療数が1013件で全国第5位の高い実績。治療成功率98.4%
齋藤滋	湘南鎌倉総合病院 (神奈川県鎌倉市)	心臓カテーテル治療の名手であり、年間治療数986件は全国第8位となる
鈴木孝彦	豊橋ハートセンター (愛知県豊橋市)	'99年の開院以来、最新設備を導入し、年間治療数994件は全国第7位である
玉井秀男	滋賀県立成人病センター (滋賀県守山市)	最近1年間の治療数578件。そのうち、急性心筋梗塞が57件を占める
井上直人	京都第二赤十字病院 (京都府京都市)	急性心筋梗塞患者の救命率が高く、最近3年間で90%を維持している
藤井謙司	桜橋渡辺病院 (大阪府大阪市)	ベッド数171床の心臓専門病院。藤井謙司副院長らがあらゆる心臓病に対応する
光藤和明	倉敷中央病院 (岡山県倉敷市)	年間治療数1512件は全国第2位。累計1万7000件で、国内最高の心臓専門医
日浅芳一	徳島赤十字病院 (徳島県小松島市)	特に、心臓カテーテルが得意で、年間治療数947件は全国第9位である
延吉正清	小倉記念病院 (福岡県北九州市)	年間治療数2740件は全国第1位。累計3万8341件も圧倒的な世界第1位だ
本田喬	済生会熊本病院 (熊本県熊本市)	患者一人ひとりのニーズに応じて最善の医療を提供し、年間治療数826件

心臓弁膜症・胸部動脈瘤・先天性心臓病・心筋症手術に強い名医トップ15

★川副浩平(A)	岩手医科大学付属病院 (岩手県盛岡市)	心臓弁膜症手術では国内の第一人者。成人心臓病の年間手術数は400件以上
柳沼敏弥(A)	仙台厚生病院・心臓センター (宮城県仙台市)	年間240件の心臓手術をこなし、「基本はアート・アンド・サイエンス」が持論
安達秀雄(B)	自治医科大学付属医療センター (埼玉県さいたま市)	成人心臓病の手術数が年間約570件。そのうち、胸部動脈瘤手術74件
★高橋幸宏(C)	榊原記念病院 (東京都府中市)	先天性小児心臓病治療の高い実績でも知られる。年間手術数392件は国内最多
黒澤博身(C)	東京女子医科大学病院 (東京都新宿区)	'55年からの半世紀の間に、心臓の総手術数3万1000例は国内最多の病院
磯村正(A、D)	葉山ハートセンター (神奈川県葉山町)	心臓バイパス、弁膜症、不整脈、心臓縮小手術のすべてをこなし、成績は良好
島本光臣(B)	静岡市立静岡病院 (静岡県静岡市)	大動脈瘤手術の高い実績で知られ、他の病院からの紹介患者は全員引き受ける
矢野洋(A)	名古屋第一赤十字病院 (愛知県名古屋市中)	高齢者の心臓手術も手がけ、80歳以上は最近1年間20件で死亡例ゼロ
米田正始(A、D)	京都大学医学部附属病院 (京都府京都市)	大学医学界を代表する心臓外科医。その信念は、「重症患者から“逃けない”」
八木原俊克(C)	国立循環器病センター (大阪府吹田市)	国内唯一のナショナルセンターで、先天性心臓病チームのリーダーとして活躍
岡田行功(A)	神戸市立中央市民病院 (兵庫県神戸市)	心臓弁膜症手術にかけては関西屈指の名手として有名。同手術数が年間90件
★大北裕(B)	神戸大学病院 (兵庫県神戸市)	大北裕教授は、胸部動脈瘤手術を得意とし、年間手術数が150件と多い
★佐野俊二(C)	岡山大学医学部・歯学部附属病院 (岡山県岡山市)	小児先天性心臓病の最高権威。手術成績と技術の双方で世界トップ10に入る
種本和雄(A、B)	川崎医科大学付属病院 (岡山県倉敷市)	心臓弁膜症、胸部動脈瘤手術が上手で、西日本屈指の心臓外科医の一人だ
★角秀秋(C)	福岡市立こども病院・感染症センター (福岡県福岡市)	先天性小児心臓病の名医。年間332件の手術数は国内第2位にランクされる

A=心臓弁膜症 B=胸部動脈瘤 C=先天性小児心臓病 D=心筋症

不整脈手術に強い名医トップ15

鶴野起久也(B)	札幌医科大学付属病院 (北海道札幌市)	最新治療をいち早く取り入れ、不整脈の治療成績では道内ナンバーワンだ
奥村謙(B)	弘前大学医学部附属病院 (青森県弘前市)	重症心臓病患者を24時間体制で受け入れ、不整脈治療にかけては県下随一
家坂義人(B)	土浦協同病院 (茨城県土浦市)	わが国を代表する不整脈の名医。治療内容、技術、成績とも日本有数である
新田隆(A)	日本医科大学付属病院 (東京都文京区)	心房細動手術(不整脈手術の一種)の第一人者として最先端のメスを揮う
小林義典(B)	同上	豊富な治療経験をもち、小林義典第一内科助教授は次代を担うスペシャリスト
庄田守男(B)	東京女子医科大学病院 (東京都新宿区)	高度な技術力は折り紙付き。頻脈性不整脈に対する心筋焼灼術が特に得意
小川聡(B)	慶應義塾大学病院 (東京都新宿区)	独自に開発した不整脈診断法を駆使し、正確な診断と治療で定評がある
櫻田春水(B)	東京都立広尾病院 (東京都渋谷区)	櫻田春水循環器科部長は人望が篤く、発作心房細動など不整脈治療で高い実績
大西哲(B)	NTT東日本関東病院 (東京都品川区)	大西哲循環器内科部長は不整脈治療が得意。モットーは「一人ひとりを大切に」
野上昭彦(B)	横浜労災病院 (神奈川県横浜市)	野上昭彦冠疾患集中治療部部長は心臓血管外科と連携し、さまざまな心臓病に対応
磯部文隆(A)	大阪医療センター (大阪府大阪市)	'98年から心房細動専門外来を開設、磯部文隆心臓血管部長は不整脈手術の名手
鎌倉史郎(B)	国立循環器病センター (大阪府吹田市)	不整脈専門の鎌倉史郎心臓血管内科医長の信念は「不整脈は治ります。治せます」
大江透(B)	岡山大学医学部・歯学部附属病院 (岡山県岡山市)	大江透循環器内科教授は心房粗動や心室頻拍などの最新治療で成功率90%以上
末田泰二郎(A)	広島大学病院 (広島県広島市)	末田泰二郎第一外科教授は、独自の心房細動手術法を開発。手術死亡は1例のみ
熊谷浩一郎(B)	福岡大学病院 (福岡県福岡市)	不整脈に対する心筋焼灼術(カテーテル・アブレーション)が年間170件

A=心臓外科 B=循環器内科

★=「ツー・ハンドレッドクラブ」のメンバー



▲脳手術・中川原譲二中村記念病院部長

脳卒中

て50代から80代までの患者50人がこの手術を受け、全員成功している。

成人心臓病と違い、先天性心臓病の世界では手術法などが異なる。特に幼い心臓病患者などの複雑な手術の場合には、やはり医者選びが大きく明暗を分ける。

33ページに掲げた表「心臓弁膜症・胸部動脈瘤・先天性心臓病・心筋症手術に強い名医トップ15」中、佐野俊二岡山大学病院教授は小児先天性心臓病に減法強く、手術死亡率が「1〜2%」（佐野教授）。これは国内平均の手術死亡率20%を大きく下回り、世界トップクラスだ。

脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血の総称である脳卒中の患者数は毎年40万〜50万人。年間死亡数も13万人近い。がんや心臓病に次いで死因の第3位だ。

しかし、わが国の脳卒中診療体制そのものは、いまだ発展途上だ。これを物語るのが、国の全国調査（対象は2048病院）が明らかにした脳卒中治療の実態である。病院別の「年間取り扱い患者数」

をみると、患者数が年間50人以下という弱小病院が全体の半数以上で、逆に、200人以上という実力派の病院は全体の1割にも満たない。病院の数こそ多いが、こ

でも、医療の質には大変なばらつきが見られるのだ。

35ページの表「脳手術に強い名医」は、全国各地域において、脳の病気なら、この先生だ」と専門医の間で評判の名医を各分野別に選定したものである。

中でも、北海道札幌市にある中村記念病院の中川原譲二部長は脳卒中に強い名医として、国内はもとより、国際的にもその名が鳴り響く。当然、脳手術の腕も超一流レベルである。

首都圏勢では、河瀬斌（たけし）慶應大学病院教授と、岡田芳和東京女子医大病院助教授。関西勢では、橋本信夫京都大学病院教授、宮本亨（みよもと）国立循環器病センター長らが、脳手術の名手として全国的に名高い。

コンピュータが脳医学に応用されて以来、最近10年間に、脳治療最前線の光景はめざましく進歩した。特に、最近注目されているのが脳血管内治療。足のつけ根の血管（大腿動脈）から頭の血管まで1m50cm、細い管を血管の走行に沿って段階的に送り込むことで、「頭を切らずに治す」という最新治療法だ。

さらに、同治療の一種である「頸動脈拡張ステント留置術」は、患者数が急上昇カーブを描く脳梗塞治療の切り札となりつつある。この分野では森貴久湘南鎌倉総合病院部長がバイオニアの一人だ。「頸動脈拡張ステント留置術とは、動脈硬化で詰まりかけた首の血管を風船で拡

げます。次に、ステント（金属の網）を血管の内側に留置することで、血管の流れをよくする治療法です」（森部長）

さて、致死率の高いクモ膜下出血は家系的に遺伝しやすい。この病気の場合には、両親や兄弟姉妹などの血縁者に十中八九、同じ病気で倒れた人がいる。

男性患者N氏（60）は、今年2月、人間ドックで頭部MRI検査を受けたら、クモ膜下出血の引き金となる未破裂脳動脈瘤が偶然見つかったという。

「実は、私の父親も脳の血管（脳動脈）が破裂して64歳で亡くなったんです」とN氏は語った。3月のある日、藤岡

正導済生会熊本病院副院長の執刀の下、N氏に対する開頭手術（写真下）が行われた。藤岡副院長は、特に、脳動脈瘤に対するクリッピング手術をもっとも得意とし、年間手術数が3年連続で日本第一位だ。約2時間の脳手術は成功裏に終わった。それから5カ月が経過した現在、N氏は職場復帰している。

「いい医者にかかるにはどうしたらいいか」。病気になるば誰でも、名医にきちんと治してほしいと思うものだ。ただ、簡単には診てもらえないだろう。特別の「コネ」がいるのではないが、敷居が高いのではないかと諦めてしまいがちだ。しかし、それは間違いなのだ。名医の診察を間違いない受けられる「賢い方法」があるので、ここで明かしておく。

①別掲のリストから名医一人を選ぶ
②今かかっている病院の担当医に申し出て、あなたが希望する医師宛ての「診

療情報提供書」（紹介状）を書いてもらう（これを断る医師はいない）

③お目当ての医師の外来診療日を確認して予約し、当日に診療情報提供書を持参して、病院受付では「私の診察は〇〇先生でお願いします」と伝える

①〜③で十中八九、意中の名医に診てもらえる。自分を名指しで受診してくれる患者を無碍には断れないというのが名医の本音だからだ。しかも冒頭で述べたように、名医もダメ医者も治療の値段は同額だ。いや、同額どころか安上がりだ。なぜなら、より安全で確実な治療を受けられるので、手術に伴う合併症も少なく入院日数は短くて済むからだ。

このことを忘れないで、いざという時は、この「名医個人リスト」を上手に役立ててほしい。



▶「3年連続日本一」の藤岡正導済生会熊本病院副院長による脳クリッピング手術

脳梗塞・脳腫瘍手術に強い名医トップ15

中川原謙二(A、B)	中村記念病院 (北海道札幌市)	脳手術スペシャリストで、国際的に著名である。最先端の脳卒中治療でも実力随一
大里俊明(B)	同上	再発した脳梗塞に対する脳血管バイパス手術が得意。テクニックは折り紙付き
小川彰(A、B)	岩手医科大学附属医院 (岩手県盛岡市)	脳外科の世界の重鎮。最先端の診断技術を駆使し、脳手術数が年間416件
鈴木明文(B)	秋田県立脳血管研究センター (秋田県秋田市)	全国に先駆けた脳卒中診療部はチーフの鈴木明文部長以下、プロ集団が奮闘する
河瀬誠(A、B)	慶應義塾大学病院 (東京都新宿区)	河瀬誠教授は脳外科手術の名手であり、特に頭蓋底腫瘍手術を得意としている
岡田芳和(B)	東京女子医科大学病院 (東京都新宿区)	岡田芳和助教授は脳梗塞治療が得意。脳血管バイパス手術に強く、国内屈指の実績
山田和雄(B)	名古屋市立大学病院 (愛知県名古屋市)	頸動脈狭窄、脳血管閉塞、モヤモヤ病などに対する脳手術で全国的に名高い
橋本信夫(A、B)	京都大学医学部附属医院 (京都府京都市)	脳手術の世界的なエキスパート。脳腫瘍の紹介患者が全国からやって来る
宮本享(B)	国立循環器病センター (大阪府吹田市)	脳手術の腕には定評。救急搬送された脳卒中患者に対し、得意のメスを揮う
石川正恒(A)	北野病院 (大阪府大阪市)	患者数が多く、中でも、脳腫瘍の年間手術数123件は全国でも屈指の多さ
榊寿右(B)	奈良県立医科大学附属医院 (奈良県橿原市)	榊寿右教授は脳血管手術に強い。最先端の技術を積極的に取り入れている
伊達勲(A)	岡山大学医学部・歯学部附属医院 (岡山県岡山市)	伊達勲教授は、特に、手術用顕微鏡を用いて病巣を取り出す開頭手術が得意
永廣信治(A、B)	徳島大学病院 (徳島県徳島市)	永廣信治教授は脳手術の名手。毎月第3土曜日に脳卒中に関する電話相談を行う
井上亨(B)	国立病院機構九州医療センター (福岡県福岡市)	'01年8月、脳血管センターを創設。'24時間対応、治療優先」を掲げている
永田泉(A、B)	長崎大学医学部・歯学部附属医院 (長崎県長崎市)	国立循環器病センター出身の永田教授は巧みなメスさばきで知られる

脳腫瘍手術=A 脳血管バイパス手術=B

脳血管内手術(脳梗塞・脳動脈瘤・動静脈奇形)に強い名医トップ15

高橋明	東北大学医学部附属医院 (宮城県仙台市)	'98年9月、国立大学では初の脳血管内治療科の開設と同時に教授となった
蘭部真	国立病院機構水戸医療センター (茨城県茨城町)	脳動脈瘤は血管内手術を第一選択とし、脳動静脈奇形も加え年間手術数80件
根本繁	虎の門病院 (東京都港区)	'02年3月、脳神経血管内治療科を新設。根本繁部長が東京警察病院から着任した
村山雄一	東京慈恵会医科大学附属医院 (東京都港区)	世界初の脳血管内治療専用手術室を開設し、検査から治療まで一貫して行う
植田敏浩	横浜国立大学医学部 (神奈川県横浜市)	首都圏一の脳専門病院。365日24時間、脳卒中救急患者を受け入れている
森貴久	湘南鎌倉総合病院 (神奈川県鎌倉市)	森貴久部長は、脳梗塞再発を予防する脳血管形成術では世界のパイオニアの一人
小池哲雄	新潟市民病院 (新潟県新潟市)	小池哲雄副院長らが脳動脈瘤や発病直後の脳梗塞に対して脳血管内治療を行う
根来真	藤田保健衛生大学病院 (愛知県豊明市)	脳外科手術数は全国最多。根来真教授は年間140件の脳血管内治療を手がける
宮地茂	名古屋大学医学部附属医院 (愛知県名古屋市)	脳動脈瘤や脳梗塞に対する血管内治療が得意。年間治療数は80~90件
滝和郎	三重大学医学部附属医院 (三重県津市)	滝和郎教授は、脳血管内治療の先駆者の一人であり、世界的にも知名度が高い
村尾健一	国立循環器病センター (大阪府吹田市)	手術が中心の脳血管外科で、村尾健一医長が血管内治療で好成績をあげる
坂井信幸	神戸市立中央市民病院 (兵庫県神戸市)	'04年1月、脳卒中センターを併設。坂井信幸医長が高度な脳血管内治療を手がける
寺田友昭	和歌山県立医科大学病院 (和歌山県和歌山市)	難易度の高い脳動脈瘤や脳動静脈奇形のほか、脳血管形成術でも良好な治療成績
後藤勝弥	脳神経センター大田記念病院 (広島県福山市)	脳血管内治療における日本の草分け的存在で、治療経験数が23年間で2000件以上
兵藤明夫	琉球大学医学部附属医院 (沖縄県西原町)	兵藤明夫教授は、日本脳神経血管内治療学会認定の指導医として活躍する

脳クリッピング手術(脳動脈瘤)に強い名医トップ15

上山博康	旭川赤十字病院 (北海道旭川市)	脳手術のテクニックは超一流。年間150~160件の脳クリッピング手術をこなす
佐々木雄彦	中村記念病院 (北海道札幌市)	主に脳動脈手術を手がけ、精鋭が揃う中村記念病院の「四天王」の一人である
西島美知春	青森県立中央病院 (青森県青森市)	青森県を代表する脳外科医。画像電送システムを使い患者相談、紹介に応じる
清水宏明	広南病院 (宮城県仙台市)	クモ膜下出血120件など、年間総治療数1914人(入院数)は全国有数の多さ
唐澤秀治	船橋市立医療センター (千葉県船橋市)	24時間体制のドクターカーでは全国に先駆け、年間の脳手術数が317件
江口恒良	亀田総合病院 (千葉県鴨川市)	顕微鏡手術テクニックの不断の改良を成し遂げ、脳手術全般に好成績をあげる
塩川芳昭	杏林大学病院 (東京都三鷹市)	脳クリッピング手術の経験が豊富で、首都圏を代表する脳外科医の一人である
永田和哉	NTT東日本関東病院 (東京都品川区)	完全無輸血による2時間以内の脳手術を心がけ、入院期間が10~12日間で済む
前田稔	順天堂大学医学部附属静岡病院 (静岡県伊豆長岡町)	'03年は脳クリッピング手術数90件。'04年4月よりドクターヘリが導入された
佐野公俊	藤田保健衛生大学病院 (愛知県豊明市)	救命救急センター長兼任の佐野公俊教授は脳クリッピング手術のスペシャリスト
魏秀復	馬場記念病院 (大阪府堺市)	年間の入院患者数1545人、総手術数514件。脳動脈瘤手術に力を入れている
黒岩輝壮	神戸市立中央市民病院 (兵庫県神戸市)	患者一人ひとりのライフスタイルに適した治療法を選び、年間手術数321件
佐藤昇樹	脳神経センター大田記念病院 (広島県福山市)	中国地方では屈指の脳外科医である。脳クリッピング手術経験数1000件以上
藤岡正導	済生会熊本病院 (熊本県熊本市)	脳クリッピング手術の第一人者。'03年、'04年は同手術が年間210件となった
上津原甲一	鹿児島市立病院 (鹿児島県鹿児島市)	最近1年間の総手術数は459件。新生児にみられる脳の病気とも取り組む

ガンマナイフ(転移性脳腫瘍・良性脳腫瘍)に強い名医トップ15

福岡誠二	中村記念病院 (北海道札幌市)	ガンマナイフの名医。年間治療数は'02年455件、'03年560件、'04年540件
城倉英史	古川星陵病院 (宮城県古川市)	東北大学病院系列。ガンマナイフ治療に熱心で、東北屈指の治療成績をあげる
山本昌昭	勝田病院 (茨城県ひたちなか市)	ガンマナイフ治療の先駆け的な名医。患者本位の診療姿勢には定評がある
芦沢徹	千葉県循環器病センター (千葉県市原市)	脳血管障害や転移性脳腫瘍の治療の切り札としてガンマナイフを駆使する
林基弘	東京女子医科大学病院 (東京都新宿区)	最新鋭のコンピュータ制御ロボット照射治療システムを導入、好成績を得る
赤羽敦也	NTT東日本関東病院 (東京都品川区)	都区内のガンマナイフ設置3病院(他は東大病院と東京女子医大病院)の一つ
大西寛明	浅ノ川総合病院 (石川県金沢市)	豊富な経験をもち、昨年9月、世界最高水準の定位放射線外科センターを開設
平井達夫	藤枝平成記念病院 (静岡県藤枝市)	藤田保健衛生大学脳神経外科の関連病院。ガンマナイフ治療件数では国内屈指
木田義久	小牧市民病院 (愛知県小牧市)	'91年、国内第2号機(全世界で17番目)を導入。15年間で総治療数5000件
森美雅	名古屋共立病院 (愛知県名古屋市)	'04年2月、最新鋭機のガンマナイフ・モデルCを設置し、年間治療数400件
大宝和博	塩川病院 (三重県鈴鹿市)	'03年2月病院新館オープンに伴い、県下初の三重ガンマナイフセンター開設
岩井謙育	大阪市立総合医療センター (大阪府大阪市)	高性能機器を備え、転移性脳腫瘍、良性脳腫瘍のガンマナイフ治療に熱心
秋光知英	たかの橋中央病院 (広島県広島市)	広島大学病院脳神経外科と連携し、県内唯一のガンマナイフ治療を引き受ける
後藤智明	済生会熊本病院 (熊本県熊本市)	後藤智明室長は九州ナンバーワンの名医。'99年1月の治療開始以来1500件を突破
祁内博行	永富脳神経外科病院 (大分県大分市)	祁内博行センター長は総治療数1500件。県外からも患者が訪れる

*リスト作成にあたり、各病院ホームページを一部参考とした